土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　都市計画道路上野公園線測量設計業務委託（街路事業・交付金）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 舗装路盤(道路路盤・空港路盤)

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県庄原市東本町			**北緯**	34° 51′ 32.1488″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			**調査期間**	2023年 9月 26日 ～ 2023年 9月 28日	**東経**	133° 01′ 14.8236″
調査業者名		**管理技術者**		**照査技術者**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 275.17m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90°東 180°南 270°西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90°	**使用機種**	
総削孔長	8.00m							**試錐機**	東邦地下工機D0D
								エンジン	ヤンマーNFD9EK	**ポンプ**	オリンピアG360A

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	275.13	0.04		アスファルト							
	275.02	0.15		砕石		黒				路盤材 Φ20～40mm砕石	
				礫混じり砂		褐灰				造成整地盛土 礫・砂分は不均質。	
	274.27	0.90									
1				砂質シルト		黒				元々の基礎地盤の黒ボク（黒色火山灰）。細粒土で均質。	
2	272.67	2.50									
3				砂質粘土		淡褐色				備北土。下位になるにつれ砂分多くなる。若干含水あり。 下位の備北層群泥岩が強風化変質し粘土化。	
4	270.47	4.70									
5	269.67	5.50		礫質土		灰褐				下位の基盤岩が強風化礫質土化。	
6				泥岩		淡褐灰				備北層群の泥岩。軟岩I相当。 原岩の組織を明瞭に残す 7.80m以深は軟岩II相当。	
7											
8	267.17	8.00									

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2	1.15	1	1		2		
		150	150		300		
	1.45						
2	2.15	1	1		2		
		160	160		320		
	2.47						
9	3.15	3	2	4	9		
					300		
	3.45						
10	4.15	3	4	3	10		
					300		
	4.45						
29	5.15	8	10	11	29		
					300		
	5.45						
63	6.15	16	22	12	50	240	
				40	240		
	6.39						
65	7.15	8	29	13	50	230	
				30	230		
	7.38						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					9/27
					9/28